

食育推進協議会だより No.1

令和6年7月22日
南島原市教育委員会
学校教育課

令和6年度 第1回食育推進協議会

7月12日(金)、南島原市ありえコレジヨホールにおいて、各小・中学校の食育担当者等27名に出席していただき、第1回南島原市食育推進協議会を開催しました。福祉保健部健康づくり課、こども未来課の事業説明、給食センターからの講話、その後地区別に分かれて、各学校の食に関する課題について情報交換を行いました。協議会の内容の一部を紹介します。

南島原市の食育推進について

健康づくり課から

今年3月に、令和6年から17年の12年間の南島原市ひまわりプランⅣが策定されました。その中で、食育推進の計画目標は、望ましい食習慣の実践と食への感謝と食文化の継承です。健康づくり課の食育推進の取組として、料理を作る力を身につけることを目的として、「お弁当の写真募集」を行っており、今年で9年目になります。昨年度は、小学生118人、中学生299人の応募がありました。今年度も「おいしく健康3・1・2弁当」のテーマで募集を行います。応募者全員に参加賞の図書カードがあります。また特典として、希望者は食生活改善推進員による郷土料理・具雑煮づくり教室、しいたけ収穫体験への参加ができます。

食文化の伝承の取組として、受け継ぐ機会づくりが必要なため、食生活改善推進員による郷土料理教室(具雑煮・そうめん・ろくべえ・押し寿司・イギリス等)、魚のさばき方教室、親子料理教室などがあるので、依頼したいこと、相談したいことがあれば各支部の食改に連絡をしてください。連絡先が不明な場合は、健康づくり課まで連絡ください。市民・地域・団体一丸となり、食育を推進していきましょう。



小児生活習慣病予防教室について

こども未来課から

生活習慣病は大人だけでなく子どもにも増加しており、子どもの頃に発症しなくても望ましくない生活習慣が続いてしまうと、大人になってから生活習慣病になる可能性が高くなります。生活習慣に関心を持ち、望ましい生活習慣を身につけ予防することを支援し、健やかな成長とともに健康な将来を守ることを目的として、小児生活習慣病予防のための講座を行っています。講座のテーマは、①大人も子どももなる生活習慣病 ②早寝早起き朝ごはんのすすめ(睡眠不足と肥満の関係) ③砂糖とジュース(糖尿病予防) ④塩とラーメン(高血圧予防)です。今年度は現在中学校4回、小学校3回の申込みがっており、現在も受付中です。講座の後に行う健康生活チャレンジシートから、就寝時刻が土曜、日曜に遅い子どもが見受けられました。「健康づくりのための睡眠ガイド2023」では、推奨睡眠時間小学生9~12時間、中・高校生8~10時間となっているので、睡眠が大切であることも伝えていきたいです。

給食センターから発信する食育

令和3年度に給食センターが統合して、今年で3年となり、改めて給食センターの食育の取組状況を説明します。

県では11月と2月に「県産品使用推奨週間」があり、県の目標値が71%以上です。南島原市では昨年度、11月は82.3%、2月は79.2%でした。地場産物で欠かせない「そうめん」は7月4日に実施し、9月にも予定しています。

毎月19日は食育の日です。今年度は、本に登場したり料理や食材を使った、ブックメニューを提供しています。給食指導に使用できるよう、「ぱくぱく通信」として学校へ配付しています。

給食時間の訪問指導を栄養士3名で担当校を決めて行っています。指導内容が偏らないよう、学年に応じたテーマを設けており、食べ方についてのポイントや栄養やマナーについて、クイズ等を入れながら話をしています。依頼があった学校には、TT授業にも行きます。各学校で利用できるように、教材の作成も力を入れているところです。「給食センターの1日」「カレーライスができるまで」「食品リサイクルの取組」の動画、「えいようの歌」の音源があり、一定期間市共用フォルダに保存するので活用してください。給食センターの見学も受け入れています。ただし見学受け入れには限りがあります。また、学校での試食会も早めに相談してください。



【食品ロスクイズ】
このマークの名称は何でしょう？

- ①ろすみん
- ②ろすのん
- ③ろすたん



こたえ ② ろすのん 食品ロス削減国民運動のロゴマーク



グループ別協議で出された学校での課題

- ・メディアを夜遅くまで見て、朝起きられない、朝ご飯を食べてこない子どもがいる
- ・野菜、ごはんの残食が多い
- ・食べず嫌いの子どもの多い
- ・食事のマナーの指導が必要
- ・教科書が変わり年間の食育計画の見直しが必要である

第2回の食育推進協議会は

令和7年2月開催予定です。